

つながる・ひろがる交流会～牧の原学区～

日時：平成 29 年 11 月 27 日(月)

14:00～15:10

場所：名東区役所 講堂

テーマ 「学区一斉の町内会秋の公園まつり」について

1 概要

牧の原学区では、区画整理によって順番に町内が出来た経緯もあり、町内会ごとに秋祭りを実施している。5年前より11月3日（祝）または11月の第一日曜日に揃えた。人的交流や親睦を深め、町内会活動の活性化や広がりにつながることを目的として実施しており、それぞれのまつりの内容は各町内会が独自に決めている。



2 課題

まつりスタッフの充実が課題。

3 将来的展望

まつりスタッフの充実が祭りの内容や規模の充実へつながり、住民同士の交流や親睦が深まる。町内会や学区連絡協議会が存在価値のある、何かやってくれそうだなというものを作っていきたい。

4 意見交換の主なやりとり

（質問1）〈区政協力委員〉

学区からのアプローチ方法はどのように行っているのですか。

→（回答）〈牧の原学区連絡協議会会長〉

学区連協の中に老人会の会長がいるためその人から連絡してもらいます。区政協力委員は各町内会から出ており、子ども会は子ども会がある町内会から連絡してもらっています。

（質問2）〈区政協力委員〉

参加者の数についてどう考察していますか。

→（回答）〈牧の原学区連絡協議会会長〉

参加者数の評価は難しいが、カラーチラシを回覧で回したり、掲示板に貼っています。そのほかにも全戸（約250世帯）に配布するなど積極的に呼びかけています。

(質問3)〈区政協力委員〉

スタッフを含めた人材の確保が難しい。地域の皆さんが集まる方法を教えてほしい。

→(回答)〈牧の原学区連絡協議会会長〉

学区の運動会では、年齢が50歳以上の方向けの種目や小さい子向けの種目を作りました。小さい子向けは何もしなくても出ますが、50歳以上の方は訪問して出てもらえるように依頼しています。こまめに人と人との関係で誘っています。

運動会の時は町内会でお弁当を用意したり、秋まつりでは会場の一角で飲んだり食べたりできるようにしているため、若い層を集められているのではと思います。

(意見1)〈区政協力委員協議会議長〉

世帯も人口も子どもさんの数も少ない中でのご苦労があると思います。5町内で実施ができるということは学区にとって一番素晴らしい環境だと思います。顔の見える環境づくりが防災・防犯含めて理想の形。役員さん等も高齢化してきて世代交代などで大変ご苦労されているかと思いますが、できることは続けて継続してやっていただければ、地域の中でも顔が見えていろんな状況の中でも協力してもらえる体制作りができあがると思います。参考にさせていただけるところが多々ありました。

(意見2)〈コミュニティサポーター〉

小さい学区の中でアットホームに祭りをしており、地域の方がすごく参加しやすい雰囲気だと感じました。ぜひ機会があれば一度うかがいたいです。

他の学区でもたくさんのお祭りや行事をされていると聞いたので、それぞれの学区での工夫や取り組み、たとえば同じ日にやると言われていたのでは、名前をつなげてスケールを大きくしていくようなこともできるのかなとイメージしながら楽しくお話をうかがいました。

5 まとめ

〈牧の原学区連絡協議会会長〉

町内会や学区連絡協議会が存在価値のある、何かやってくれそうだなというものを作っていけたらと思います。

〈名東区長〉

一昨年、牧の原の運動会に参加させていただいた際に、新しい種目を取り入れたり、定番の種目にも何か加えられているなど、一工夫されており、アイデアや実際に行動される実行力すばらしいなと思って拝見しました。小さい学区で人数が少なければ少ないなりに、町内会が少なければ少ないように、そこでの良さを生かして、個性を生かしてやっていращやることが良く分かりました。

スタッフの確保の問題はなかなか特効薬のある問題ではありませんが、マンツーマンでお話しをしていく中で人と人との顔の見える関係が出来てくることも非常に大切だなと思います。すべて成功するわけではないかとは思いますが、私自身大変勉強になりました。